

福岡水素エネルギー戦略会議 令和2年度製品開発支援事業 公募要領（2次公募）

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急経済対策により、経済的損失を受けている会員企業が行う製品開発に関して、今年度の助成額上限を上げるとともに、助成対象経費に人件費を追加し、5月11日（月）まで追加公募を実施します。

※本事業は地方自治体からの負担金により実施されているため、地方自治体の補正予算成立を前提とし、かつ今後、助成内容等に変更が生じる場合があります。

1. 製品開発支援事業の目的

福岡水素エネルギー戦略会議会員が行う製品開発を支援することにより、水素エネルギー関連技術^(※)の向上を図り、水素エネルギー産業の育成・集積を図ることを目的とします。

※水素エネルギー関連技術：水素製造・輸送・貯蔵・利用に関する技術

2. 製品開発支援の対象

地域産業・経済の活性化に貢献する、新規性・創造性に富んだ水素エネルギー関連製品開発を支援対象とします。

3. 助成区分，助成期間，助成額，採択予定件数

(1) 可能性調査枠

- ・助成対象 : シーズ技術の事業化可能性を調査
(試作品開発・データ取得，企業等ヒアリング調査)
- ・助成期間 : 1年間（令和2年度）
- ・助成額 : 750万円以内
- ・採択予定件数 : 1次公募と2次公募合わせて1件程度

(2) 事業化研究枠

- ・助成対象 : 事業化が期待される製品開発
(本格的製品開発)
- ・助成期間 : 3年以内（～令和4年度）
- ・助成額 : 1,500万円/年以内（令和2年度）
※令和3～4年度は1,000万円/年以内
助成期間が2年間の場合は総額2,250万円以内、
3年間の場合は総額3,000万円以内
- ・採択予定件数 : 1次公募と2次公募合わせて1件程度

4. 助成対象経費，助成割合

(1) 助成対象経費は、次に掲げる開発経費とします。

(経費区分の詳細は、5頁「別表」に示すとおり。)

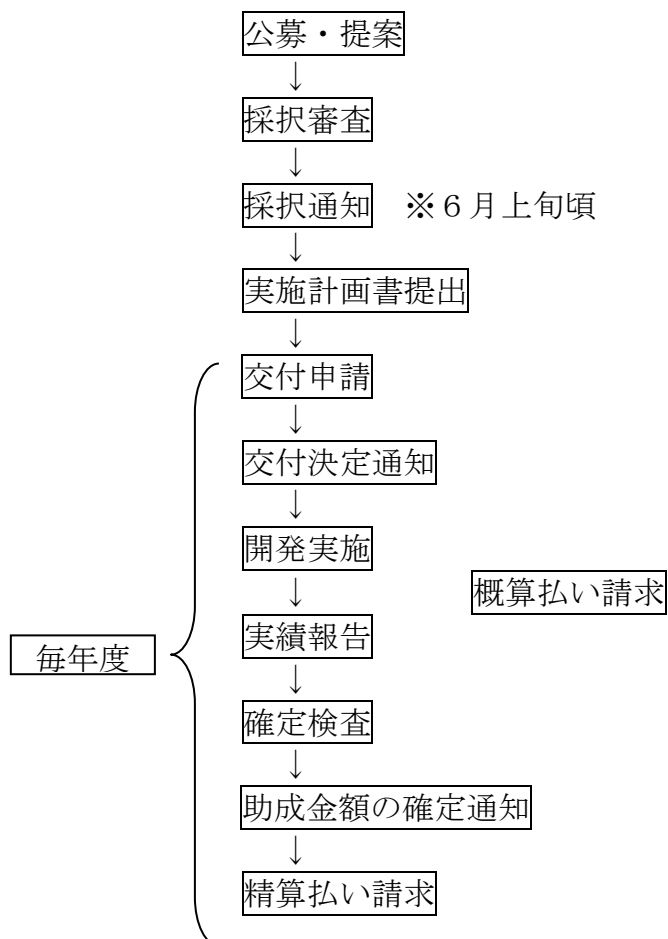
- ・機械装置費
- ・消耗品費
- ・委託費
- ・調査旅費
- ・その他経費

※令和2年度に限り、対象経費の1/3を上限に人件費の計上を認めます。

(2) 助成割合は、助成対象経費の10/10以内とします。

(3) 一般管理費は助成対象外とします。

5. 事業の流れ



6. 応募資格

- (1) 福岡水素エネルギー戦略会議会員で構成する「産」「学」「官」、「産」「学」、「産」「官」または「産」「産」で構成される共同開発チームであること。
- (2) 提案代表者は、「産」であること。
- (3) 共同開発チームに、県内企業が含まれること。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高が前年同期比15%以上減少している県内企業が含まれること。

※ 「産」とは、日本国内に事業所を有し、1年以上事業を継続している大企業、中堅・中小企業をいいます。

※ 「学」とは、学校教育法に規定する大学、短期大学、高等専門学校、及び国立大学法人法に規定する大学共同利用機関法人に在籍する研究者をいいます。

※ 「官」とは、国立、独立行政法人及び公設の試験研究機関をいいます。

※ 「県内企業」とは、「産」のうち、本社が福岡県内に所在する企業、または提案書に基づく開発を実施する研究所等が福岡県内に所在する企業をいいます。

7. 提案書受付期間

令和2年4月24日（金）から令和2年5月11日（月）午後5時必着

8. 提案書様式

様式1 「福岡水素エネルギー戦略会議令和2年度製品開発支援事業 実施提案書」

様式2 「プロジェクト概要書」

別紙 「新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少に関する申出書」

9. 提案書の提出方法

提案者(共同開発チームの代表企業)は、以下資料①～⑤を、メールおよび郵送により提出ください。

- ① 様式1 「福岡水素エネルギー戦略会議令和2年度製品開発支援事業 実施提案書」
3部（正本1部、副本2部）
- ② 様式2 「プロジェクト概要書」
3部（正本1部、副本2部）
- ③ 様式3 「提案書必要書類チェックシート」
1部
- ④ ①, ②のデータを入力したCD-R
1枚
- ⑤ 「提案テーマの基礎となる保有技術」を示す参考資料
各1部

※ 提案書は採択審査以外の目的に使用せず、応募内容に関する秘密は厳守いたします。
提案書は返却いたしません。
提出された提案書等について、ヒアリングを行う場合があります。

10. 採択審査

提案されたテーマの中から、「製品開発の目的・目標の妥当性」「事業化の可能性」「地域への経済波及効果」等を総合的に判断し内定者を決定します。（「事業化研究枠」については、「事業化の可能性」を重点的に審査します。）

なお、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

※1次公募と2次公募を合わせて審査します。

11. 審査結果の通知

審査結果は、6月頃にお知らせする予定です。

12. 助成金の支払

助成金の支払いは、概算払い及び精算払いを併用するものとします。

なお、概算払いとは、原則として、年度途中に行う、支払済及び支払いが確定している経費に係わる助成金の支払いをいいます。

13. 成果の帰属

助成事業によって得られた産業財産権等の成果は、原則として、助成を受けた共同開発チームに帰属します。

14. その他

- (1) 助成対象は、原則として、採択通知日以降に発生した経費とします。
- (2) 助成金の交付決定は単年度毎に行います。
- (3) 複数年度にわたる事業については、前年度の事業実績の評価を行い、その結果に基づき助成額を決定します。
評価結果によっては、助成金が交付されない場合や、助成金が減額される場合があります。
- (4) 補助事業終了後、開発した製品を市場に展開したことにより得た収益については、その一部を戦略会議に納付しなければなりません。
- (5) 本事業は地方自治体からの負担金により実施されているため、地方自治体の補正予算成立を前提とし、かつ今後、助成内容等に変更が生じる場合があります。
- (6) 令和2年3月23日（月）から令和2年4月17日（金）まで募集した1次公募において提案されたテーマについても、提案企業が6.（4）の条件を満たしている場合には、「3. 助成区分，助成期間，助成額，採択予定件数」及び「4. 助成対象経費，助成割合」の規定を適用します。

15. 問い合わせ及び応募書類の提出先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局（福岡県商工部新産業振興課内）

担当：松下

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7

TEL 092-643-3448 , FAX 092-643-3421

E-mail info@f-suiso.jp

URL <http://www.f-suiso.jp>

別表（経費の区分）

1. 機械装置費	1 件が 10 万円以上の機械装置又は工具器具の購入、製作、改良、修繕、据付、撤去に要する経費。 (但し、パソコン等著しく汎用性の高いと認められるものは除く。)
2. 消耗品費	試薬、工具、消耗品のほか、1 件が 10 万円未満の機械装置又は工具器具の購入等に要する経費。
3. 委託費	試験、設計、加工、装置の据付工事等の外注に要する経費。 (但し、機械装置費に含まれる経費は除く。)
4. 調査旅費	必要な調査や出張のための経費。 (社内規定に基づいた旅費等を認める。)
5. その他経費	1～4 以外で会長が認めた経費。 (<u>人件費を含む</u> 。但し、茶菓子代や飲食費、交際接待費は除く。) ※対象経費に占める人件費の割合は 1/3 以内とする。